

推進工地盤強化工法としてパイプルーフ工法を採用

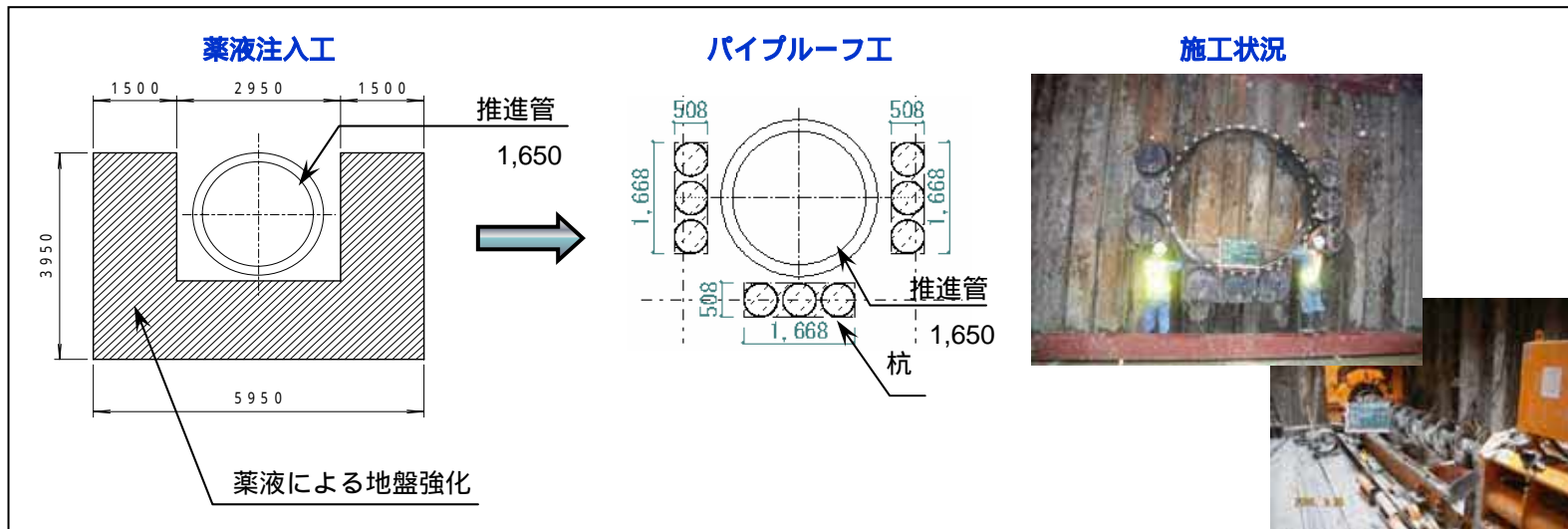
工事名： かんがい排水 西長沼地区 第1工区

概要： 軟弱地盤において推進工を行うにあたり、薬液注入により周囲の地盤を強化する工法を採用せずに、トンネル上部の崩壊防止などでよく施工されるパイプルーフ工法を採用した。

この工法は、推進管の直下及び左右に杭を施工することで掘削機の自沈防止と左右の方向制御を目的とした工法である。

効果： ・薬液注入に比べ施工コストの大幅な縮減と共に、地盤等の周辺環境への影響が少ない工法である。

・施工延長 L=64.5m 77,600千円 67,000千円 縮減額10,600千円、縮減率14%



「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」

【 施策名 () 工事コストの低減 (1) 工事の計画・設計等の見直し 】

十勝支庁

炭素繊維補強による既設ボックスカルバートの改修工法

工事名：一般農道整備事業（一般） 西旭地区

概要：農道改良に伴う既設ボックスカルバートの補強工法

効果

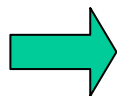
既設ボックスカルバートを撤去後新設する工法に比べ、既設ボックスカルバートを炭素繊維を用いて補強し有効利用することにより工事コストを縮減。

改修工事費を8,700千円から1,900千円に縮減。

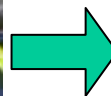
(縮減額 6,800千円、縮減率 約78%)



現況



工事中



完成

強度の不足となるボックスの内面に炭素繊維を貼付け補強する工事です。完成後の光沢のある部分が補強箇所です。

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」

【 施策名： .工事コストの低減（3）工事構成要素のコスト低減 】

現地発生材を利用した工法の実施

工事名：丸平の沢森林土木効率化等技術開発モデル工事

概要：（従来）

ブロックによる魚道設置

（新）

現地発生 of 巨石を使用した魚道を設置

効果

溪流生態系に配慮し、魚道を設置するにあたり、コンクリートブロックの魚道を採用した場合に比べ、現地発生 of 巨石を使用した魚道とすることにより、資材費を縮減した。

魚道設置費を、23百万円から17百万円に縮減。
（縮減額 6百万円、縮減率 約26%）



現地発生 of 巨石
を使用した魚道

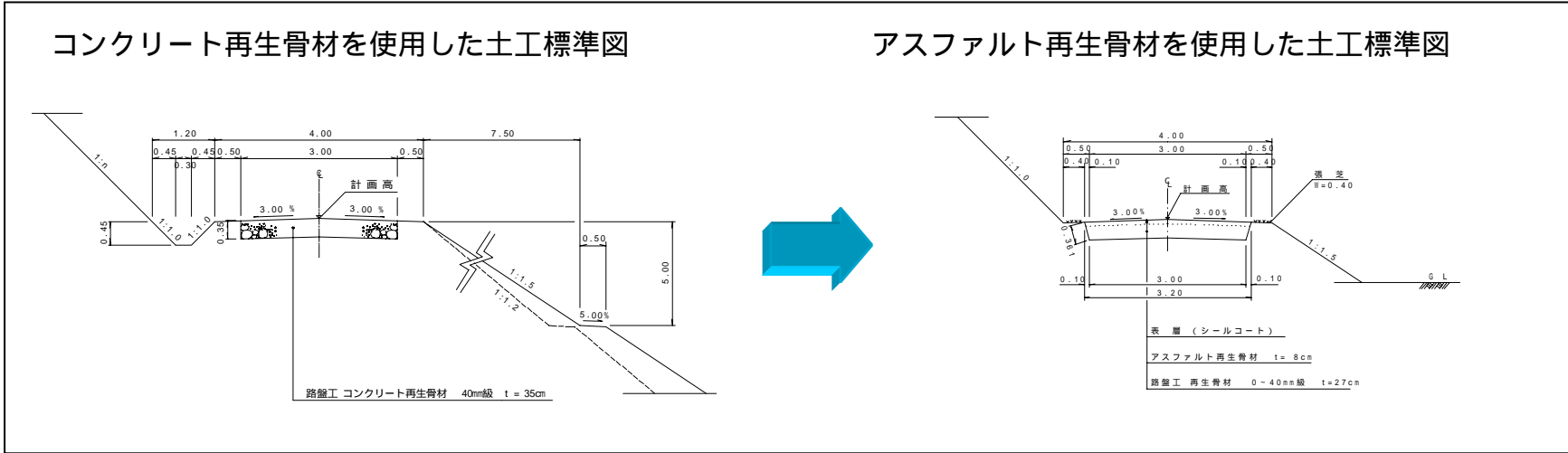


「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」
 【施策名： . 工事コストの低減（1）工事の計画・設計等の見直し】

アスファルト再生骨材利用による路盤・横断構造の見直し

工事名：森林管理道安骨線開設工事
概要：（従来）
 ・コンクリート再生骨材を路盤材として使用
 （新）
 ・アスファルト再生骨材を路盤材として使用

効果
 アスファルト再生骨材を従来路盤材の代替として利用することにより、路盤材料費および排水対策費を縮減。
 建設工事費を、**15,405千円**から**13,755千円**に縮減。
 （縮減額**1,650千円**、縮減率約**10.7%**）



「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」
【施策名：()工事コストの低減 (4)工事实施段階での合理化・規制改革等 建設副産物対策】

すき取り土の有効利用

概要：草や根が混じった「すき取り土」を張芝等の植生工に代わる法面の「法覆基材」として利用し、廃棄物の発生を抑制するとともに、工事コストの縮減を図る。平成15年1月に利用の取扱いを定め、平成16年度から本格実施を行った。平成19年12月に利用促進のための改定を行い、利用の拡大を図っている。

効果

有機物を多く含んでいるため、土壌生物の活動を活発化させ、植物の生育にとって良好な環境をつくる。
地域の既存植生の復元が可能であり、周辺の自然環境、景観対策が期待できる。
全道で330件の工事で利用し、従来工法に比して約8億1千万円のコスト縮減。

